

統合新中学校開校に向けた保護者説明会（黒田庄地区会場） 質疑回答

※会場で説明のとおり、ご意見・ご感想については省略し、発言者の質問にあたる部分のみを事務局で編集し記載しています。また、事務局回答についても、一部編集しています。会場での事務局回答に追記した箇所と新たに回答をした箇所には下線____を表示しています。

| 番号 | 質問 | 回答内容 |
|----|--|--|
| 1 | <p>今回の件は、黒中と東中だけの問題ではなく、その先の西中との統合についても繋がっている問題であると思う。</p> <p>現時点での市行政としての確定事項は、黒中と東中の統合のみであって、その先の西中との統合は確定事項ではないのか。</p> | <p>中学の統合については、「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画」に基づき、西脇東中学校と黒田庄中学校を統合するとしており、令和9年度の開校と西脇東中学校を活用することが決まっています。</p> <p>推進計画の中では西脇中学校とは次の統合になり、令和20年度に統合するということも、決定しています。</p> <p>西脇中学校と新統合中学校との統合につきましては、令和15年の時点で調査検討会議を設け、令和20年度の統合（2拠点化）に向けて検討を進めます。</p> <p>なお、調査検討会議を令和15年度までに立ち上げる段階で、推進計画にも記載していますが、今後の出生数であったり、教育制度の動向や変更などを総合的に検討させていただいて、令和20年度に学校を改めて開校する。具体的に、どこに開校するかということを含めて、調査検討会議で検討することが推進計画で決まっています。</p> |
| 2 | <p>西脇中学校は、ハザードマップに抵触する位置にあるが、黒中も同様の条件により、廃校の要因になったことから、西中への統合も難しいのではないのか。そうした面も含め、西脇市全体の問題ではないのか。</p> | <p><u>西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に係る活用施設の決定については、決定理由としてお示ししているとおおり、ハザードマップを踏まえた状況のみで決定したものではありません。</u></p> <p><u>ご意見のとおり、西脇中学校は、ハザードマップ上の浸水想定区域内に存しています。ハザードマップには、土砂災害や浸水被害等の災害発生のリスクが表示されていますので、令和20年度の統合中学校として活用する施設については、想定される災害の種別に応じたハード面・ソフト面での対策の有効性など、学校施設自体の安全性や通学の安全性を踏まえながら、その他の事由も勘案し、総合的に検討を進めることとなります。</u></p> <p><u>なお、推進計画では学校統合に係る施設整備の方針として、既存教育施設の活用を基本とすることとしており、ハザードマップ上の浸水想定区域内に存していることのみをもって、現時点で西脇中学校を活用できないという判断はできません。</u></p> <p><u>学校学習環境規模適正化の取組みについては、ご意見のとおり、当初から西脇市全体の課題であると捉えており、そうした点も踏まえて、令和2年度から取組みを推進するとともに、全市的な広報周知や各地区における説明会等も実施してきたところです。統合によって、学校が閉校となる地区の方などが様々なご意見をお持ちであることは理解していますが、全市的な取組みであることを踏まえ、ご理解をいただけるよう努めます。</u></p> |
| 3 | <p>JRの廃線の話もでていると思うが、学校に子どもが通ってる間、統合がある間はJRは絶対あるものなのか。</p> <p>それが途中でなくなった場合、バスが足りないなど問題が起きないのか。</p> <p>いろんなことを先送りにしてるから、目の前のことだけについての進め方になってるのではないのか。</p> | <p>JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）に関しては、存続に向けて、市、地域を挙げて取り組んでいます。ただ、現時点でのその方向性については、回答できない部分になります。</p> <p><u>通学支援については、一定の基準を設けて市で実施するものです。JR加古川線は安全かつ安定した通学手段の1つとして捉えていますが、その利用が困難になった場合でも、通学支援が円滑に実施できるよう、動向を踏まえながら必要な検討を行います。</u></p> <p>また、先送りをしていると言われる面についてですが、35人学級導入のような教育制度の変更、西脇市の出生数の変化などもある中で、推進計画は決定事項としたうえで、令和15年度に、次の統合に向けた検討会議を設置し、そこで様々な状況を踏まえた上で、判断をしていく必要があると考えています。</p> |
| 4 | <p>部活は校長が協議の上、もしくは基本的には今の活動をベースに決めることになると思われるとあるが、事前に生徒からどういう部活を作りたい、入りたいという意見をもらって、文化部なども増やして欲しいかいかか。</p> | <p>実際のところ、部活動を増やすと、部員がどれだけ集まるか、また顧問を配置できるのかなどの問題があり、そのような実情も踏まえて、両校の校長先生が協議し、決まってくのではないかと考えておりますが、部活動の地域展開に関する検討会議の委員の方から、ニーズがあるならば受け入れを表明したいというご意見もいただいているところで</p> <p>教育委員会でもその意見を受け、令和9年度の中学3年生の最後の大会や発表会等が終わった後に地域に展開することを目指し、受け皿を整備しながら、ニーズを確認することも同時に行う予定としています。</p> |

| 番号 | 質問 | 回答内容 |
|----|--|---|
| 5 | 部活に入りたくない子どもは部活動に入らなくてもいいのか。 | 部活動に入っている生徒はおりますが、他の地域のクラブ活動に所属している子どももおり、絶対に部活動に入らなければいけない時代ではなくなってきているので、そのことも考えて対応をしていきたいと考えています。 |
| 6 | 令和20年度に統合されるような学校の開校準備委員会は無駄な時間と無駄な税金を使うとしか思えないので、開校準備委員会を一旦取り下げて、考え直したらどうか。 | 子どもにとっては1年1年が大切な1年だというのは、保護者の皆様も感じていると思います。子どもにとって重要な中学校生活を、できるだけ教育環境が整った中で充実させたい思いでこの計画を進めており、 <u>統合によって教育機会の均等を保ち、教育環境の向上を実現させたいと考えています。</u> 開校準備委員会も、統合するにあたり、子どもたちにとって良い教育環境はどういう環境なのかを、保護者の目線や地域の方の目線、学校関係者の目線で調整していきたいという思いをお願いをしており、ご協力いただきたいと思います。 |
| 7 | 統合に対するストレスケアや、事前交流などの取組が全く見えない。なにか行っているか。 | <u>統合の前から、学校行事等を合同で行う等、生徒間の交流を深めることで対応していきたいと考えております。</u> <u>また、特別に支援が必要な生徒への対応に関しては、統合の有無に関わらず必要なことであり、支援の観点を両校の教職員で十分に共有するなどして対応に当たりたいと考えています。</u> |
| 8 | クラス替えができる学級数を確保する等で、人間関係に配慮した学級編成がいい教育なのかと疑問に思う。人間性に配慮する学級編成をするだけではなく、もっと、人間関係を構築し、心を耕すようなことを充実させるべきではないか。 | 子どもたちの人間関係を構築するというのは、統合の有無と関係なく進めていく必要があります。ただ、統合で違う学校の子どもたちがお互い一緒に生活していくには、心理的な安全が特に必要だと思います。 子ども同士の関係をつなぐための支援は今、西脇市全体でも進めています。一番に他者とどうやって繋がるのかについて取り組んでおり、支援に特化した臨床心理士を西脇市内全ての学校に配置し、子どもたちの関係性の支援について取り組んでいます。2つの学校が一緒になる場合でも、統合前から可能な行事を一緒に開催したり、生徒同士の交流をしたり、様々な手法を取り入れることを考えています。 |
| 9 | 1学年2クラスになれば、全教科の教員が確保できるのか。ここに書いてある教員数の確保によるメリットが、本当にメリットなのか。 | 一定のクラス数があれば、兵庫型の常勤の先生も増え、免許外教科担任を申請しなくてもある程度教員を確保できると考えています。また、非常勤の先生ではなく、定数配置の中で安定的に教員を確保していくことが、学校運営を安定化させるという意見もあります。そのため、 <u>中学校の適正規模は1学年2クラス以上として教員を確保していく方向性を答申でいただいています。</u> <u>また教員の確保は、習熟度別授業など個別の能力に応じたきめ細やかな対応に繋がり、教員同士でも議論や研鑽も可能となるため、生徒、教員の両方にもたらすメリットが大きいと考えられ、一定のクラス数を確保することにより、教員の確保を目指します。</u> |
| 10 | 具体的なことは開校準備委員会でお話するとありますが、安全性の確保がはっきりせずデメリットの方が大き過ぎる中で、なぜ開校準備委員会が開催できるのか。安全性をきちんと確保しないと開校を進めて行きたくないのに、なぜ開校準備委員会に入ってからでないといけないのか。 | <u>両地区内の通学路の安全性は現時点で既に一定確保されており、現状で通学路の安全性等が課題となる可能性がある場所としては、これまで通学路の設定がなかった地区間等の道路であると想定しています。そうした中で、両地区を結ぶ県道は十分な幅員等があり、一般的に見て、現時点では往来が困難であるような状況ではないのではないかと考えています。そのため、そこを通学路に指定した場合に、どのような課題があるか等を開校準備委員会等で協議します。</u> また通学バスを利用される場合は、乗降場所から学校まで安全を確保するために、乗降場所の設定は保護者の方、地域の方からご意見をいただきながら開校準備委員会で検討したいと考えています。 以上のことから、 <u>開校準備委員会を開催しなければ、通学路の詳細が決められず、より個別具体的な箇所等への安全性確保に向けた調整等ができないと考えています。</u> |
| 11 | 統合後、体育祭や文化祭はどこでやるのですか。 | 体育祭等は今のグラウンドや校舎で行うことになるかと思います。東中学校は1学年2学級の学校規模に対応しているもので、基本的には統合後の活動については支障がないと思っています。 |
| 12 | 増設校舎はどこに建つのか。 | 増設校舎は、西脇東中学校の校舎と体育館の間に広場があり、そこに建てることを計画しています。グラウンドに建てることは想定していません。 |
| 13 | 増設校舎を建てるためのお金はどこから出るのか。そのお金は、どういうふうを集めるのか。 | 増設校舎を含む東中改修の金額は、統合懇談会の資料などでは参考として、4.8億円とお知らせをしており、これは、黒田庄中学校を活用する場合でも同額程度必要ということで説明しています。 新しい中学校を活用する間も施設は老朽化しますので、老朽化にも対応しなければならず、10年間使うことを想定して、必要となるものを、手元的に試算を行いました。 財源は学校を整備する際の補助金として国からの支援もありますが、市も当然何割か負担があると思います。いずれにしても、税金を使わせていただくうえで、丁寧な説明が必要だと思っています。 |

| 番号 | 質問 | 回答内容 |
|----|--|---|
| 14 | 人数が増えた体育祭で、保護者の車はどこに止めるのか。 | 駐車場ですが、体育祭等で東中学校が使える駐車場は、今までだと大体校舎内で収まりましたが、不足する場合、市営住宅の東側の駐車場を借りています。また、比延小学校や鹿野町公民館などを確保していくと十分足りると考えています。 |
| 15 | 校舎を建てる側と建てない側の差は必ずでるのではないのか。外壁を塗るのは両校ともするとして、建てる、建てないで、なぜ必要金額が一緒になるのか。 | この工事の概算は、類似の工事例を参考に、物価上昇等も踏まえて算出しました。 黒田庄中学校の工事内訳は、 <u>①校舎の外壁改修、②体育館・武道館の外壁改修、③校舎・体育館の屋上防水の改修、④職員室の増築、⑤その他、外構工事</u> が主な工事内容となります。 西脇東中学校の工事内訳は、 <u>①校舎の増築、②校舎の外壁改修、③トイレの改修、④職員室の増築、⑤駐輪場の増築、その他外構工事</u> が主な工事内容となります。 それらをもとに算出したところ、同程度という試算結果になりました。 黒田庄中学校側の改修金額が増築を行う西脇東中学校と同程度になるのは、外壁改修は校舎3階まで足場を組んで行うような大がかりな工事であり、対象となる建物面積も西脇東中のおおよそ2倍（西脇東中校舎3,110㎡に対し、黒田庄中校舎4,242㎡、体育館1,918㎡、格技場459㎡）あることで外壁改修等の工事費が大きくなるためです。 |
| 16 | 2026年から35人学級に変わる中で、全体的には8学級が想定されると思う。そうすると増築校舎が大きくなり、更に増額するのではないのか。 | 現時点で35人学級として8年度から順次計算すると、どの年度も学校全体で最大6クラスとなり、こちらが想定していたクラス数に収まるので、増築する校舎を大きくしなればならないことはありません。 |
| 17 | 金額の資料が見える形、書面で必要なものを出してほしいが可能か。 | 実施予定の工事についての詳細は今後入札を行うこと等も踏まえると、つぶさに工事費を上げていくことが、難しい部分があり、詳細な設計を経て実際に工事を行うと、工事金額が変わることもあります。今総額で提示していますが、どちらの学校であっても、財政的な制約面も鑑みて、この金額の範囲内でやっていくんだという思いで4.8億円を提示しています。 令和20年度まで子どもたちが使っていく上で、より良い学習環境を今の段階で整備していきたいという思いの中で提示している金額となり、現時点で外壁も綺麗にして、令和20年度という一応の計画年度まで持たせたいと考えています。 <u>なお、実施内容については、質問15で回答のとおりですが、関連資料を第6回統合懇談会の資料2として書面で示しています。市ホームページで確認ください。</u> |
| 18 | 適正と言っているのになぜ増築が必要なのか。 | 西脇東中学校は1学年2学級の合計6クラス想定で当初から建築されており、 <u>統合後の学校規模として想定される6クラス約200人が生活する学校として適正な規模と考えられます。</u> <u>また、将来の人口減少を考えても、今以上に生徒数が増えないことを考えると、西脇東中学校の規模が将来にわたっても適正と考えています。</u> 増築する部分は、数学であったり英語であったり、もう少し小さいクラスに分けて勉強するときに、更に教室が必要で、新しい校舎を作って教室数を確保したい思いを持っています。 |
| 19 | 通学路の安全をはっきり言えるようになってから、この話で進めたほうがいいのではないのか。 | バスの乗降場所を確定するにあたり、地域の意向を確認して、どこで子どもたちに集まってもらうか、それを確定するのは地域の方のご意見を聞かなければいけないため、 <u>開校準備委員会で地域の方のご意見を聞くこととしています。</u> 通学路の安全委員会で、次年度以降において通学路と想定される部分での危険箇所を調査し、早急に危険箇所を把握した上で対応していくことは、手厚くしてほしいと要望しており、この件については非常に大事なものと認識しています。 |
| 20 | 予算見積りで出てきているものをベースに見積り依頼をかけるということは、どういう項目があるかは言えると思うが。 | 黒田庄中学校については、 <u>①校舎の外壁改修、②体育館・武道館の外壁改修、③校舎・体育館の屋上防水の改修、④職員室の増築、⑤その他、外構工事</u> があり、外構工事は、バスが入ったときの回転がしやすい形だったり、入口の段差をなだらかにしてバスが走りやすいようにするなどの工事となります。 東中の工事内容ですが、 <u>①校舎の増築、②校舎の外壁改修、③トイレの改修、④職員室の増築、⑤駐輪場の増築、その他外構工事</u> が入っています。 <u>質問15を併せてご確認ください。</u> |

| 番号 | 質問 | 回答内容 |
|----|---|--|
| 21 | 令和20年の3校統合を前倒しすることを検討すればいいのではないか。 | <p>3校統合は西脇中学校も入れた中での協議となるので、かなり時間がかかると思われます。その間に子どもの人数の動向や文部科学省の35人学級の話、更に将来的には30人学級という話もあるので、教育制度の動向や変更などを見極めた上で総合的に検討したいと考えています。</p> <p>令和15年までに検討会議を立ち上げるという計画にしており、私どもとしては答申にある通り、西脇東中学校と黒田中学校の統合を行い、まず3拠点にしたところで、次の段階を検討したいと考えています。</p> |
| 22 | 人数の多い黒田庄の生徒が東中に行くことによって悩みが膨らんでいるので、逆だとそういう心配やリスクも減る。少ない生徒の方を移動させる方がよっぽどリスクが少ないのではないかと思うが。 | <p>対象になる子どもたちの安全の部分に関する心配を極力減らす、もしくは対策をとることが大原則です。</p> <p>従って、人数を先に決めたからというわけではなく、活用する校舎は教育委員それぞれの観点から総合的に判断されて校舎を決定されました。その結果において安全を確保したいと考えるので、人数が増えることでリスクが増える部分もあるかもしれないが、様々な手段を使いながら安全を確保する努力をします。</p> <p>また、子どもたちの指導に関しては学校と協力して対応していきたいと考えています。</p> |
| 23 | いじめ・不登校への対応について私は不安に思っている。いじめは陰湿、悪質になっており、なかなか先生方も把握しづらい状況で、すごく不安に思う。不登校は、学校に行くだけがメリットではなく、新たな場所を見つけるなどの支援も必要なことだと思う。教員の確保で、教員同士の研鑽が可能となり質の向上が望めると書いてあるが、本当に中学校の先生は忙しい中、教育に当たられており、その中で実際どのように研鑽をしていくのか、またいじめ・不登校への対応は、具体的にどのようにされていくことを考えているか。 | <p>いじめ・不登校の課題については、統合になる学校にかかわらず、すべての学校に対して必要なことであると思います。関係支援づくりのために専門の臨床心理士を配置しています。</p> <p>令和2年度の審議会の中で、保護者の方からいじめ・不登校に注視してほしいというご意見をいただき、行政としても、予算化を進めており、臨床心理士の配置を行いました。</p> <p>また、研鑽については、新たに研修の時間を増やすということではなく、今ある取組に価値づけをして進めていきたいと考えています。</p> <p>不登校になった子に関しては、はればれ教室へ入級していただき、学校復帰や社会的な復帰を目指してもらおう方向で支援員や相談員を増員して、できるだけ手厚くしたい思いで取り組んでいます。更に、すべての中学校と小学校2校ですが、サポートルームを設置し、学校の門はくぐれるけど教室に入れない子どもが、オンラインで授業を受けたり、自分のやりたい勉強をやってもらうようにしています。</p> <p>他に、不登校やいじめに関して、誰もが簡単に相談できる体制として、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーという専門の方も入っていただき、人員を増員して、できるだけ不登校にならないこと、いじめが起きないような環境を日々整えており、ご理解いただきたいと思っています。</p> |